

## 『コロナ宿泊療養施設』 埼玉県の確保状況

埼玉県がホテル療養のために現在確保しているのは1535室。療養者が部屋を利用・退室した後には消毒業務があり、同じ階の全てが退室しないと消毒作業に入れません。そのため確保している全ての利用は難しく、借り上げた約4割が稼働している状態です（宿泊療養者は3日現在 604人）。新たに2つのホテルの今月中旬の稼働を目指して準備中で、稼働すれば1840室になります。また、全体として消毒業務の迅速化に向けて、努力しています。

更に療養のホテル数を増やそうと努力をしていますが、ホテル療養は看護師などを配置する為、小さいホテルではなく、一定規模の大きなホテルに限られます。

先日の県議会で、宿泊療養施設を確保する為、ホテルへの借り上げ単価を上げました。

## 菅総理『中等症 自宅療養が基本』埼玉県の方針は

菅総理は「中等症(肺炎)患者は、重症化リスクが高い人を除き、自宅療養が基本」と、これまでの入院方針を変更しましたが、国から県庁に通達は来ていません。埼玉県は7月から『宿泊・自宅療養者支援センター』を開設。469の医療機関が自宅療養者の健康観察・薬の処方を行っており、今後も協力医療機関を増やしていく考えです。酸素吸入を自宅で行う事は現在まで埼玉県では行っていません。『酸素投与センター』を一部の県は設けて、重症者数にカウントしていませんが、適切ではありません。国から通達が来ても、方針を変えるのではなく、まずはこれを続けていきます。1月以来、入院が48時間以内に出来なかったのは8月2日の1人だけで、その後必要な入院は来ています。

保健所の態勢については、保健師を8月2日から更に51人増員していきます。

## アストラゼネカ製ワクチン 埼玉県に先行供給

大野知事「ファイザーやモデルナ製のワクチンに含まれるポリエチレングリコールにアレルギーのある方や、1回目を海外で接種した方を対象に、千回分がまず今週末に県に来ます。それとは別に26万回分の量が（9月末までに）ファイザー・モデルナの枠とは別に来

て、これまで県に来ている分を市町村に渡す事は認められていないので、市町村の意向をまず聞いて進めます。アストラゼネカ製を集中的に接種出来るセンターの体制を準備中です（時期は未定）。専門家は他社製とリスクは同じとの意見ですが、丁寧に説明する必要があります。アストラゼネカ製はベクターワクチンで国産なのでメリットもありますが、いわゆる副反応は、数十日見なければいけないという問題が指摘されています」（8月3日）。

ファイザー・モデルナ製ワクチンの確保を、私（中川）から知事に求めている事について、『ひろし新聞』の前号（7月18日発行）でお伝えしましたが、大野知事は7月28日にも、内閣府の担当副大臣の所に行き、改めて「県による集団接種の分が、市町村の分から引かれている事について訂正して欲しい。職域接種・エッセンシャルワーカーや基礎疾患のある方に対する接種を優先させて欲しい」と求めました。

また7月29日に、大野知事にワクチンの優先接種について私から提案しました。

## 県ワクチン大規模接種会場 川越にも

『ウエスタ川越』（川越駅西口徒歩5分）を接種会場に、今回はエッセンシャルワーカーを対象として、8月12日(木)午後1時から予約が開始される事に決まりました(ファイザー製)。

## 議員・公務員の『年収削減』を

コロナ禍の1年半、非常に厳しい状況の中で、『緊急事態宣言』など行政から何かをお願いするには、議員・公務員の年収削減が必要だと考え（通常の“人事院勧告”ではなく）、また『減税』の必要性も、政党所属の国会議員・県議会議員と話しています。国には20兆円の昨年度のお金が残っています。衆議院選挙まで待つ必要はありません。

●首都圏などの感染爆発が、地方に波及したら、医療機関の少ない地域では大変な事になります。他県に行くのを県民の方々にご遠慮頂くために、まずは公的機関のイベントを自粛すべきで、4日、大野知事に「パラリンピック『聖火リレー』のイベント自体中止」決断を提案しました（3日、埼玉県は“公道”での聖火リレーの中止を決断）。

県議会議員 中川 浩 ☎090-3310-9234 hncgw@nifty.com

ひろし事務所は毎日11～4時 OPEN 狭山市中央4-25-4 FAX 2936-8834

コロナ対策など日々 HP更新中

👩🏫子育て家庭👨🏫の為に🍎フードバンク🍌『食品・寄付金』募集中❤️